

第一回 流域圏学会総会・学術研究発表会

日時： 5月28日(土) 10:00~17:45

場所： 高知大学・農学部3号館1階13号室

【主催】流域圏学会

【共催】高知大学、高知工科大学

【後援】高知県・高知県教育委員会・高知市教育委員会・(財)四万十川財団・四万十川総合保全機構(確認中)・西日本科学技術研究所・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTV テレビ高知・高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局

プログラム

- 9:30~ 受付
総合司会：北條正司(大会実行委員長)
- 10:00~10:15 開会挨拶 四万十・流域圏学会・会長(司会：宮崎利博)
「四万十から流域圏にむけて」
- 10:15~11:15 環境教育：ユースセッション・発表(座長：山下慎吾)
10:15~10:45 四万十川流域におけるアミカ科幼虫の分布とその生育環境
中越悠一朗、荒金夏樹、菅井慎一郎、○高橋蒼(同)、○新玉悟(高知県立四万十高等学校)
10:45~11:15 幡多地域に展開する循環型農業と環境教育
○矢野川春奈、○上岡由奈、○久保田千尋、○茨木萌(高知県立幡多農業高等学校)
- 11:15~12:00 総会
12:00~14:00 昼食・ポスターセッション(座長：一色健司)
P1 四万十川流域におけるアミカ科幼虫の分布とその生育環境
中越悠一朗、荒金夏樹、菅井慎一郎、○高橋蒼、○新玉悟(高知県立四万十高等学校)
P2 幡多地域に展開する循環型農業と環境教育
○矢野川春奈、○上岡由奈、○久保田千尋、○茨木萌(高知県立幡多農業高等学校)
P3 四万十川における水温の経年変化
○福永泰久(NPO法人 全国水環境交流会)
P4 水温の変化が沈水性植物の水質環境改善効果に及ぼす影響ー石土池を対象としてー
○森本敬光(溝管技術コンサルタント)、村上雅博(高知工科大学)
P5 水生植物・ホテイアオイの溶存二酸化炭素及び栄養塩類の吸収特性と石土池の水環境保全システムの提案
○西山明宏、村上雅博(高知工科大学)
P6 途上国環境問題視察学生ツアー [JSCE 環境工学委員会(第12回):ベトナム]
○宮川結衣(高知工科大学)、名取哲平(木更津高等専門学校)、飯島正資(JSCE)、越後信哉(京都大学)、藤井滋尾徳(京都大学)、村上雅博(高知工科大学)
- 14:00~15:20 特別講演(座長：北條正司)
14:00~14:40 講演(1)「里山最後(?)のキツネ遺骸の炭素・Sr同位体比測定」
○鈴木和博(名古屋大学年代測定総合研究センター)
14:40~15:20 講演(2)「東日本大地震による津波災害の概況」
○富田孝史(港湾空港技術研究所アジア太平洋沿岸防災研究センター・上席研究官)
- 15:20~15:30 休憩
15:30~16:30 一般セッション・講演(座長：村上雅博)
15:30~15:50 キシミー川(フロリダ州エバーグレイズ)自然再生プロジェクトの視察
○山下慎吾(魚と山の空間生態研究所)
15:50~16:10 地下水と人間の安全保障(GWAHS-CS, UNU-EHS/UNESCO-IHP):沖積氾濫原平野の地下水砒素汚染
○辻和毅(熊本大学)、村上雅博(高知工科大学)、Renaud Fabrice(UNU-EHS, Bonn)
16:10~16:30 早明浦ダム流域における日単位と1時間単位の長期流出解析の比較
○藤村 和正(明星大学)、白羽 陽藏(東京工業大学大学院)、村上 雅博(高知工科大学)、
鼎信次郎(東京工業大学大学院)
- 16:30~17:30 企画セッション「陸空海と流域圏」
16:30~16:40 趣旨説明:モデレーター(西森基貴:農業環境技術研究所・主任研究員)
16:40~17:00 基調講演(1)「地球規模気候変動モデルと流域圏ダウンスケーリング」
○鼎信次郎(東京工業大学・准教授)
17:00~17:30 基調講演(2) 流域圏における循環型プロバイオテイクス環境農業と社会システム研究開発の俯瞰的課題
○松下潤(芝浦工業大学・教授)
- 17:30~17:45 閉会挨拶 流域圏学会・会長(司会：森牧人)
「流域圏の未来、地域からの政策課題を発想する力」
- 19:00~21:00 懇親会(高知市内土佐料理店、会費：5千円均一に変更)

問合せ先：学会事務局(村上) Tel. 0887-57-2418 (Murakami.Masahiro@kochi-tech.ac.jp)

文部科学省委託事業「気候変動適応研究推進プログラム」

Research Program on Climate Change Adaptation (RECCA)

～流域圏にダウンスケーリングした気候変動シナリオと高知県の適応策 (RECCA 高知) ～

RECCA 高知 H23 年度公開セミナー(1)

「地球温暖化・気候変動の影響下における流域圏の水文・水資源と防災・環境研究の俯瞰的課題」
～開発からマネジメントそしてポリシー(政策シナリオ)へのサイクルと課題を俯瞰する試み～

日時：平成23年5月29日(日) 10:00-16:30

場所：高知高専専攻科棟(4階)講義室(2) [〒783-8508 高知県南国市物部乙200-1] <高知空港から：徒歩で10分>

★★★ 公開セミナーにつき参加費無料 ★★★

【主催】流域圏学会

【共催】高知大学、高知工科大学

プログラム

セッション(1) 座長：村上雅博(高知工科大学)

10:00-10:10 ●趣旨解説：「RECCA 高知」と水文・水資源・防災・環境グループの俯瞰的研究課題

西森基貴(独立行政法人・農業環境技術研究所・主任研究員、RECCA 高知・研究代表)

☆セッション(1) 座長：河原能久(広島大学)

10:10-10:30 ●グローバルな気候変動対応 IPCC シナリオの課題

鼎信次郎(東京工業大学 大学院情報理工学研究所 情報環境学専攻・准教授)

10:30-11:00 ●地球規模海水準変動と沖積氾濫原湿の地下水環境変動

辻和毅(熊本大学・客員教授)

11:00-11:30 ●地球温暖化の影響下における北海道の河川と災害対応策の課題 <仮題>

泉典洋(北海道大学・大学院・工学研究科・河川・流域工学研究室・教授)

11:30-12:00 ●水災害軽減対策と適応策研究の課題 <仮題>

河原能久(広島大学・工学研究科・社会環境空間部門・地球環境工学講座・教授)

12:00-13:00 ●昼食

セッション(2) 座長：岡田将治(高知高専)

13:00-13:30 ●海洋と沿岸海域における環境変動研究の課題 <仮題>

日比野忠史(広島大学・工学研究科・社会環境空間部門・講座地球環境工学講座・准教授)

13:30-13:50 ●キシミー川(フロリダ州エバーグレイズ)自然再生プロジェクト

山下慎吾(魚と山の空間生態研究所)

13:50-14:10 ●四万十川の天然スジアオノリの生育環境について

岡田将治(高知高等専門学校・環境都市デザイン工学科・准教授)

14:10-14:40 ●高知において気象災害をもたらす擾乱の特性

濱田一平(高知大・大学院、佐々浩司(高知大学 教育研究部 自然科学系 理学部門・教授)

14:40-14:50 ●休憩

セッション(3) 座長：藤村和正(明星大学)

14:50-15:20 ●地域コミュニティ防災計画の俯瞰的課題

三牧純子(国立民族学博物館)

15:20-15:50 ●流域圏における総合計画と環境工学研究の俯瞰的課題 <仮題>

清水芳久(京都大学大学院工学研究科附属・流域圏総合環境質研究センター・教授)

15:50-16:20 ●流域圏における循環型プロバリオティクス環境農業と社会システム研究開発の俯瞰的課題

松下潤(芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 環境基盤研究室・教授)

16:20-16:30 ●ラップアップ <次年度(H24 年度)の研究計画>

モデレーター：西森基貴/村上雅博

c/o 高知工業高等専門学校 環境都市デザイン工学科 岡田将治 Tel/Fax: 088-864-5654, E-mail :E-mail: okada@ce.kochi-ct.ac.jp

RECCA: Research Program on Climate Change Adaption)とは? [<http://www.mext-isacc.jp/>]

気候変動予測の成果を都道府県あるいは市区町村などの地域規模で行われる気候変動適応策立案に科学的知見として提供するために必要となる研究開発を推進しています。将来の気候変動影響を考慮した適応策の立案には科学的根拠となる気候変動予測情報が不可欠となりますが、現在の気候変動予測の空間解像度は地域規模の検討に使用するには粗いなどの課題も指摘されており、気候変動予測の時間的、空間的な分解能を向上させることや、予測に含まれる不確実性を低減することが必要です。また、全球規模の気候変動予測成果を利用する気候変動適応シミュレーションは、対象地域の社会的な実情を十分に考慮することによって、効果的な適応策立案に必要な科学的知見を政策決定者や利害関係者に提供できるものと期待されます。